

HNL

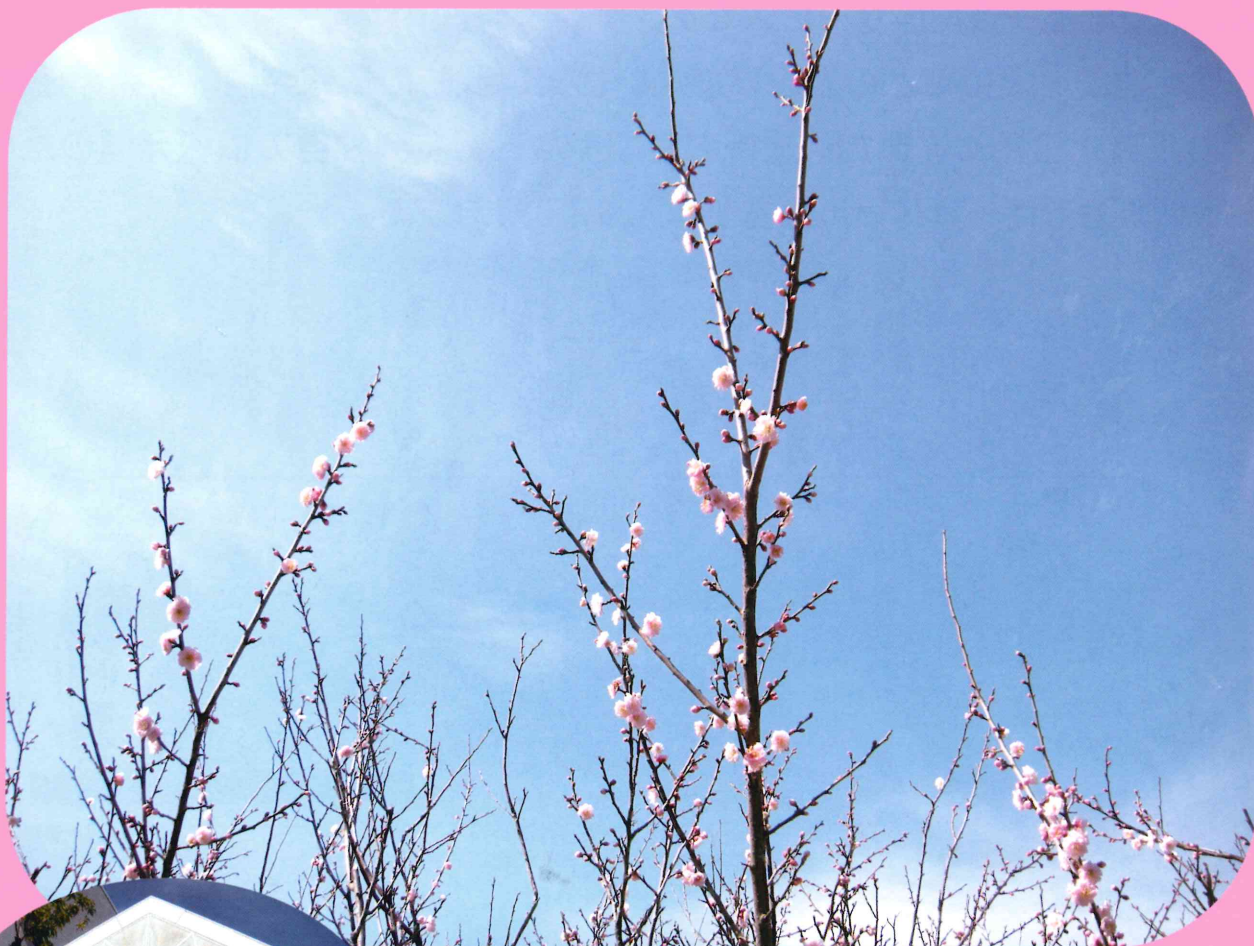
1989年9月11日 第三種郵便物承認(毎月5回 1日・10日・15日・20日・25日発行)
2017年4月20日発行 HNL通巻第1992号

No.136

2017.4.20
Spring

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

まぼろし



瀬戸内海国立公園 綾部山梅林の梅



山陽電車 山陽網干駅

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<https://npohik.or.jp/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- | | | | | | |
|------------|-----------|------------------|-----------|--------------------|--------------------|
| ■阪神ブロック事務局 | 〒663-8215 | 西宮市今津水波町1-7 | ドミトリー高木1F | TEL.0798 (36) 9731 | FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7370 | FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7323 | FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 | 〒672-8048 | 姫路市飾磨区三宅1-192 | 田中興産ビル6F | TEL.079 (285) 0577 | FAX.079 (287) 6038 |

認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは？」「認知症なのでは？」
「認知症ってなに？」と“認知症”に対しての不安はだれもが持っていると思います。
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長
長尾 和宏 先生

●職歴
1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第7回 認知症は何もできない人、ではない

最近、テレビで認知症の当事者の方が自らの症状や闘病体験を語る機会が増えています。「認知症を特別な目で見ないで欲しい」「認知症は何もできない人、ではない」「認知症の人も普通に生活できる」などと発言しています。

スコットランドの認知症政策を大きく変えたジェームズ・マキロップさん 脳血管性認知症と診断されてからは完全に引きこもっていました

認知症の当事者が自ら発信し始めたのはスコットランドが発祥です。ジェームズ・マキロップさん（75歳）は認知症当事者としてスコットランドの認知症政策を大きく変えた人です。

ジェームズ・マキロップさんは1999年に脳血管性認知症と診断され、それからは認知症だと人に指差されるのが怖くなったために外出すらできなくなりました。しかし、ある出会いが彼の人生を変えました。アルツハイマー協会の職員のブレンダ・ヴィンセントさんが完全に引きこもっていたマキロップさんをバザーの手伝いなどに誘い、なんとか外に連れ出そうと促しました。

恐る恐る外に出てみて“自分はまだ人と話せる”といことに気付き “認知症の人が正しく扱われていない”という想いに駆り立てられ

そして、恐る恐る外に出てみることによって“自分はまだ人と話せる”といことに気付きました。それから、2002年に認知症の当事者グループを立ち上げ、認知症の人が外で語り合える場を作りました。そして、スコットランドでは認知症の人が公の場で堂々と意見を述べ、政治をも動かすようになりました。

そもそも何がマキロップさんをそこまで駆り立てているのでしょうか。それは“認知症の人が正しく扱われていない”という想いでした。当初は誰もがマキロップさんのことを「何も分らない、できない人」と見ていたそうです。

認知症の人やその家族の視点を重視した取り組み 大切なことは認知症の人の話をじっくりと聴くことなのです

マキロップさんの取り組みは日本にも影響を与えています。2014年10月には『日本認知症ワーキンググループ』が発足。

2015年には策定された新オレンジプランの7本の柱のひとつに「認知症の人やその家族の視点の重視」という項目が謳われました。

認知症と診断されると多くの人は絶望の淵に追いやられます。大切なことは認知症に対する勝手な思い込みや偏見を追い払い、認知症の人の話をじっくり聴くことなのです。